

臨床研究・調査の概要

研究課題名	Open wedge 高位脛骨骨切り術と人工膝関節全置換術の術後成績の比較 患者立脚型評価(KOOS)を用いて
研究の概要	<p>【研究の目的・意義】</p> <p>内側型変形性膝関節症(以下内側膝 OA)の手術治療として Open Wedge 高位脛骨骨切り術(以下 OWHTO)や人工膝関節全置換術(以下 TKA)が行われている。</p> <p>変形性膝関節症に対する患者立脚型評価法の 1 つとして日本語版 KOOS があり、膝 OA 患者や術後患者の QOL 評価に有用であり、効果量が大きいことが言われている。</p> <p>しかし、術後回復について KOOS を用い経時的に評価したものは少ない。また OWHTO と TKA を比較したものはない。</p> <p>本研究の目的は、OWHTO と TKA の術後成績を患者立脚型評価法である KOOS を用いて経時的に評価し、比較検討することである。</p> <p>【研究の症例、対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当院で 2010 年 1 月から 2017 年 12 月に OWHTO を施行した症例 ・当院で 2012 年 1 月から 2017 年 9 月に TKA を施行した症例 (除外基準) ・65 歳以下もしくは 80 歳以上の方 ・術後 2 年以内に同様の手術をもう一方の膝にも実施した症例 ・KL 分類が 1 もしくは 2 の症例 ・2 年間の経時的な評価が困難であった症例 ・TKA の症例は Triathlon CR(Stryker)以外の機種 of 症例 <p>【研究の方法】</p> <p>研究デザイン: 症例対照研究</p> <p>膝関節可動域を計測し、KOOS をアンケートとして実施し、術前、術後 3 か月、6 か月、1 年、2 年と経時的に評価。</p> <p>【研究の期間】</p> <p>承認日～2020 年 8 月末日</p>
研究資料の入手・閲覧	<p>研究資料については、研究対象者または当院が認める親族等の方からのご要望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で提供いたします。</p> <p>研究資料の入手・閲覧を希望される方は、次へご連絡ください</p> <p>富山市民病院 診療科:リハビリテーション科</p> <p>役職:主任技師 氏名:上野亜未</p> <p>TEL 076-422-1112(代表)</p> <p>FAX 076-422-1371</p> <p>e-mail jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp</p>
個人情報の開示に係る手続	富山市個人情報保護条例に規定する手続に従い、適切に対応いたします。

相談等への対応	研究対象者からの除外を希望される場合、その他当該研究に関する相談等については、関係資料の入手・閲覧と同じ連絡先にご連絡ください。
---------	--